

第2回 食と農林漁業の 食育優良活動表彰



農林水産省ホームページ

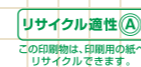
食と農林漁業の食育優良活動表彰 <http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/hyousyou.html>

食と農林水産業 みんなで知ろう、考えよう！（食育の推進） <http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/index.html>



農林水産省 消費・安全局消費者情報官

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1 TEL 03-3502-5723 FAX 03-5512-2293



農林水産省

「食と農林漁業の食育優良活動表彰」とは

食文化の伝承や農林漁業体験の提供など、食育活動において、優れた実績を上げた農林漁業関係者や食品等事業者を表彰

食育活動を持続的かつ効果的に実施し、優れた実績を上げた農林漁業関係者や食品等事業者に対して、その功績を称え、これを広く国民に周知し、優れた食育活動の全国展開を促すことを目的に、平成25年度から新たに「食と農林漁業の食育優良活動表彰」を実施しました。

本表彰では、食文化の伝承や農林漁業体験機会の提供

等を通じて、農林水産業への理解や食への感謝の念の醸成を促す活動や、食生活の健全化に資する活動を対象としています。また、こうした食育活動への企業の参加を推進する観点から、農林漁業関係者等を対象とした一般部門のほかに企業部門を設けています。

受賞者

	一般部門 <small>【対象者】①農林漁業者（法人含む）、集落営農等農業者グループ ②農林漁業関係団体（JA等）、学校、NPO法人 ③その他</small>	企業部門 <small>【対象者】企業・事業者</small>
農林水産大臣賞	<ul style="list-style-type: none"> ●めぐみの農業協同組合（岐阜県関市） 地域と人、農業を結ぶJAの農業体験 	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらきコープ生活協同組合（茨城県小美玉市） 学校・行政・JAや生産者など、さまざまな団体との連携により地産地消をすすめる「たべる、たいせつ」食育活動
消費・安全局長賞	<ul style="list-style-type: none"> ●ウーマンズフォーラム魚<small>さかな</small>（東京都中央区） 浜のかあさんと語ろう会 ●唐戸魚食塾<small>からとぎょしょくじく</small>（山口県下関市） 魚食で笑顔に！笑顔で食を大切に！！一水産都市下関の魚食文化の継承発展、魚食を取り入れた日本型食文化の普及、卸売市場を発信基地にー ●人見みゆ子<small>ひとみ</small>（栃木県那須塩原市） 伝えたい。食と農、命の大切さと感謝の心（私にできることの一步から） 	<ul style="list-style-type: none"> ●永利牛乳株式会社<small>ながとし</small>（福岡県太宰府市） 自然の恵み「牛乳」とは？～牛乳工場見学から直営牧場での乳牛ふれあい体験を通じて見えてくるもの～ ●日本醤油協会（東京都中央区） しょうゆもの知り博士の出前授業 ●合資会社 野田味噌商店（愛知県豊田市） 味噌造り、五平餅作り体験を通じた食文化の伝承

（敬称略）



「第2回 食と農林漁業の食育優良活動表彰」受賞者の方々

「第2回 食と農林漁業の食育優良活動表彰」表彰式

■ 日時 平成26年11月7日（金）13:30

■ 会場 株式会社三菱総合研究所
（東京都千代田区永田町2-10-3 東急キャピタルタワー）

■ 審査委員（敬称略・50音順）

大竹 道茂
江戸東京・伝統野菜研究会 代表

高田 正澄
元ネスレ日本株式会社 取締役兼専務執行役員

田村 知香子
株式会社共同通信社 情報企画本部 企画事業部 次長

中嶋 康博（審査委員長）
東京大学大学院 農学生命科学研究科 農業・資源経済学専攻 教授

吉岡 有紀子
相模女子大学 栄養科学部 栄養教育学研究室 相模女子大学大学院 栄養科学研究科 准教授



農林水産大臣賞を受賞した
「めぐみの農業協同組合」



農林水産大臣賞を受賞した
「いばらきコープ生活協同組合」

■ 審査講評 ■ 審査委員長 中嶋 康博

第二回「食と農林漁業の食育優良活動表彰」に、全国の食育に取り組む、個人、団体、企業などから、145件の多彩な取組の応募がありました。これらの取組について、審査委員会においては、審査基準に基づき、独自性、継続性、効果性の観点から評価を行いました。

農林漁業者及び関係団体を対象とした一般部門では、小学生と保護者を対象にした多彩な農業体験や食体験を通じ、食の大切さや地域農業への理解を深めているJAを大臣賞とし、全国の女性漁業者が東京の子どもたちに漁業の意義と役割を伝える活動を長く続けてこられた団体、地方卸売市場で産学官連携により大人に対する魚食文化の普及を行っている団体、酪農体験を通じて命の大切さや感謝の心を小学生や都市住民に長く伝えてこられた酪農家の方を、それぞれ局長賞とすることとしました。

また、ライフステージに応じた幅広い年齢層への食育を推進する観点から、食品やサービスを提供し、国民と日常的な接点を有する食品産業界の役割が重要となっているため、本表彰においては、企業部門を設け

ています。表彰の対象となった企業においては、製造業や流通業などそれぞれの特性を活かした大変素晴らしい取組が行われております。組合員が食育サポーターチームをつくり学校やJAと連携しながら日本型食生活や地産地消の大切さを子どもたちに伝えている生協を大臣賞とし、局長賞には、酪農体験と工場見学を全社員で長年取り組む乳業、全国各地で醤油の魅力を伝える出前授業を開催する団体、原料生産から郷土食調理までの体験を通じて食文化を伝える味噌製造業とすることとしました。

受賞の選外となった個人、団体、企業についても、今後の発展が期待できる興味深い取組や、特徴的な取組が多くありました。表彰された取組を参考としていただきながら食育活動を継続していただき、来年度も応募していただければと思います。次回の表彰ではさらに多くの応募を期待しています。

今回受賞された方々に改めて敬意を表しますとともに、心よりお祝い申し上げます。この表彰が国民や社会への食育の普及の大きな契機になることを祈念します。